

音楽科シラバス 3年

音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 1 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 2 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 3 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

評価について（評価の観点及び評価の方法）

（1）知識・技能

- ・ 期末テスト
- ・ 実技テスト
- ・ 練習時の様子
- ・ プリントの記述

（2）思考・判断・表現

- ・ 期末テスト
- ・ 表現の工夫（強弱や曲想などの気づき）
- ・ プリントの記述

（3）主体的に学習に取り組む態度

- ・ 期末テスト
- ・ 授業態度
- ・ プリントの提出状況
- ・ 実技テスト時の態度
- ・ パート練習やグループ活動でのリーダー性や協力性、努力

授業計画

<歌唱分野>

校内合唱コンクールまでに重点的に取り組む内容

※ 1, 2年生より合唱曲の難易度が上がります。（ピアノ伴奏の難易度も）

技能や知識、音楽について考え判断する力を積み重ねることが不可欠です。これまで培った力を大切にしながら、積極的に音楽活動に取り組むことが必要です。

- 1 発声練習の習慣化
- 2 パート分けおよびパートリーダーの決定
- 3 クラス曲の選曲、ピアノ伴奏者、指揮者の決定。
- 4 クラス曲の練習＜授業における＞
- 5 クラス曲の練習＜クラス練習における＞
- 6 学年リハーサル
- 7 本番
- 8 小中合同音楽会への参加
- 9 卒業式の合唱

＜器楽分野・その他＞

- 1 世界の民謡「帰れソレントへ」他
- 2 創作

主な持ち物

- 1 ファイル（配布された楽譜や鑑賞のプリントなどを保管する）
- 2 筆記用具
- 3 教科書（1年の教科書、2・3年の教科書上下2冊、器楽の教科書、コーラスフェスティバル）
- 4 音楽バッグ（教科書やファイル等を入れる）

授業参加にあたっての留意点

○音楽が好きな生徒も、苦手な生徒も、自分ができることを全員が全力で頑張る姿勢を大切にしています。

失敗したり、できなかつたりすることを否定することはありません。間違えても、上手くいかなくても、とにかくやってみる、挑戦しようとする気持ちが大切です。

○持ち物は家に持ち帰らず、教室のロッカーで保管してください。

○忘れ物をしてしまった場合は、必ず授業前に申し出てください。

○教室同様、3分前入室・1分前着席を心がけましょう。